

つるがしま里山サポートクラブ 活動報告書 (平成 28 年度)

活動日時	月	日	曜日	開始	終了	場 所	会員参加数
	5	17	水	10:00	13:00	運動公園	6
活動名称	桜新芽挿木作業					報告者：小沼	

<主な活動内容>

- 東村山市で桜の新芽を採取し、2000本の桜を植樹してきた経験者（橋本一郎氏）の指導を受けて、桜新芽の採取・剪定・鉢植え作業を実施した。
場所：運動公園の北側道路の桜（コヒガンザクラ）より採取。
実績：9鉢（1鉢に7本 計63本）の挿木を制作。
- 橋本さんが今までに試行錯誤して実践してきた手法を教わりながらの作業で、かなり詳細な技術の積み重ねを感じる内容であった。
- 今回は新芽の挿木作業であったが、今後は、鉢の水やり、定着した苗木の育て方、移植方法等一連の取組作業があり、継続して指導を受けながら進めることとなる
- 特に、最終移植場所は鶴ヶ島市のどの場所が望ましいか、管理の仕方等について市役所関連部署等と相談しながら長期的の取り組んでいくことが必要となる。

<資材購入費> 9944円（カインズホーム）

<里山参加会員>

小澤邦、佐野英、吉牟田、高橋、松井、小沼、
なお、橋本さんは正会員として登録しました。他1名参加

<作業内容概要>

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新芽のある枝の剪定
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 剪定した枝跡が数年かけて桜の樹皮で覆われるようにナイフ・ハサミで平らにする。 ・ 融合剤を塗り保護する。



- ・新芽 10 cm程度の長さのものを枝から切り離す。
枝は 6~7 cmの長さで新芽と T字型にする。



- ・葉は先端の 3 枚を残し、枝の間のもは取り除く。



- ・枝の切り口に根促進剤を塗る。



- ・鹿沼土大玉を底に、腐葉土と鹿沼土中玉を混ぜたものを中段に、表面に鹿沼土小と中の混ぜた鉢を準備。
・1 鉢に 7 本を横挿に植える。



- ・風よけと保温のビニール袋をアルミ支柱にかけて完成。
・会員各自が自宅に持参し、1 年間管理する。